２０２７年度　佐野厚生総合病院　（病床数　510）【1年次】

受入人数	【1年次】1名

常勤・非常勤	研修手当				時間外	休日	勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与					有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	343,000円		646,000円		あり	日・祝・8/15 第1・3・5土曜	平日8:30～17:00 第2・4土曜日 8:30～12:45	10日		2日	12/28午後～1/3	3回以上	あり	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	指導医:岡村幸重　他10名 病棟研修では、上級医と二人で患者診療に当たります。主に2ヶ月ずつ、3つの病棟(呼吸・糖尿病・内分泌病棟、消化器病棟、循環器・腎臓病棟)をローテーションし、20症例以上の広範な内科症例を経験します。主要な症例は内科学会専門医制度に則った入院病歴の提出をするとともに、学会発表を経験することを目標とします。当直(および日中の救急)業務では、上級医と二人で二次救急レベルまでの初期診療を行います。
救急科	指導医:北川清宏 他の臨床研修と同様、マンツーマン指導のもとで、個々の救急診療にあたることを原則とします。軽症から重症まで豊富な症例を経験することで、実践の中から広く救急診療を勉強することができます。気管挿管や心マッサージなども数多く経験します。各科当番医の直接指導によりBLS・ACLSに積極的に参加し、時間内に来院された救急患者の初療を中心に行います。決して救急雑務に追われることのないように、指導医のしっかりしたバックアップのもと程よい緊張感を持って、広い視野から系統的に救急医療の修練を行えるように配慮しています。
外科	指導医:池田謙 一般・消化器外科を中心とした症例数が豊富です。消化管穿孔をはじめとする急性腹症から食道・胃・大腸・肝・胆・膵などの各種消化器癌、外傷に至るまで広く偏りがないのが特徴です。手術も件数が多く、内容も癌拡大根治手術から各種腹腔鏡手術まで広く実施します。癌治療に関しては放射線・各種化学療法、緩和ケアなどについても学びます。
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
産婦人科	指導医:平嶋洋斗 産科・婦人科の区別なく、主治医とともに診療にあたります。外来では上級医の手技を見学し、胎児スクリーニング法や分娩予定日推定法、合併症妊婦管理などについて学びます。病棟では婦人科疾患の術前診察や産科の切迫早産管理、緊急母体搬送の診察等を上級医とともに行います。分娩は、入院時点から進行を把握し、分娩まで管理します。また正常経過逸脱時の帝王切開の判断を学びます。手術では可能な限り第2助手として参加し、産婦人科手術の特殊性について体験します。また、産科危機的出血の対処法を学びます。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

整形外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、形成外科、泌尿器科、放射線科、脳神経外科、リハビリテーション科

○研修アピール

・自由度の高い研修環境が毎年研修医に好評を博しています。研修医の主体性を尊重し、研修医の「やってみたい」という気持ちにできる限り対応します。各診療科の医師や臨床工学士による講義、放射線科技師との合同勉強会も充実しています。人工呼吸器やPICCカテーテルなどの手技を学ぶ勉強会や定例の内科カンファレンスでは、研修医の希望を取り入れながら計画し実施していますので学びたいものを思う存分吸収できる環境です。とくに手技は実技の機会を積極的に設けますので、1年間の研修を終える頃には大きく成長していることを実感できます。

・研修医1人に対して指導医が1名以上つき、マンツーマン指導を行います。研修医の数が少ないのでローテートの重複は少なく、その分指導医・上級医からの手厚い指導を受けることができます。

○研修医からのメッセージ

・当院は、職員の穏やかさと温かな職場の雰囲気が自慢です。先輩医師やコメディカルスタッフとの距離が近く、明るく相談しやすい環境が整っているため、日々の疑問や不安も気軽に共有できます。
落ち着いた環境の中で、安心して研修に取り組み、自分らしい成長を積み重ねていくことができます。

・当直は月3回以上。自分の希望に合わせて入れやすいので、ワークライフバランスの充実も可能です。

・都内へは直通バスで約1時間とアクセス良好。自然と都市の両方を身近に感じられる立地です。
周辺には飲食店やスーパーが多く、生活しやすい環境が整っています。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　　岡村　幸重

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：　研修センター　米田裕美

住所：　栃木県佐野市堀米町1,728

TEL：　0283-22-5222

E-mail：soumuka-kensyu@jasanoko.or.jp